



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 株式会社インバウンドテック 上場取引所 東
コード番号 7031 URL <https://www.inboundtech.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 東間 大
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO 専務執行役員 管理本部長 (氏名) 金子 将之 TEL 03-6274-8400
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,715	7.6	170	△30.4	167	△31.0	107	△33.5
2023年3月期第2四半期	1,594	37.6	245	168.4	243	167.1	162	186.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 106百万円 (△37.1%) 2023年3月期第2四半期 169百万円 (200.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	41.59	39.55
2023年3月期第2四半期	61.97	59.39

(注) 当社は、2022年10月14日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,800	2,614	54.5
2023年3月期	3,981	2,631	52.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 2,070百万円 2023年3月期 2,091百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,453	4.9	328	△16.7	323	△17.0	210	△17.3	80.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	2,616,600株	2023年3月期	2,614,800株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	97,314株	2023年3月期	114株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	2,590,908株	2023年3月期2Q	2,614,786株

(注) 当社は、2022年10月14日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を算出しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響によるインバウンド需要は急速な回復を見せておりますが、コロナ禍によって激減したサポートニーズは回復のペースが追いついておらず、マルチリンガルCRM事業における多言語分野に係る業務の受注についても復調傾向にあるものの、依然不透明な状況が続いております。一方、コロナ禍による生活様式の変化に伴い、ワクチン接種受付業務などのスポット案件を受注してまいりましたが、緩やかなシュリンクは続いており、その減少分を官公庁や自治体などの公共関連業務の受注に注力することで、当事業全体として成長軌道で推移しております。また、当社グループにおいては、連結子会社である株式会社シー・ワイ・サポート及び株式会社OmniGridがいずれも計画通りの進捗となりました。

セールスアウトソーシング事業においては、主力業務である東京電力グループからの受託業務が前年度に比べて縮小となり、また、期首から計画しておりました新案件が期待通りの収益計画に至らなかったために撤退したことなどから計画との乖離が生じた一方、大手携帯キャリアの契約切替勧奨業務が予想を上回る形で推移したことから当事業全体としてほぼ計画通りの推移となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期と比べ120,989千円増加し1,715,709千円、営業利益は前年同期と比べ74,532千円減少し170,871千円、経常利益は前年同期と比べ75,424千円減少し167,750千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期と比べ54,292千円減少し107,755千円となりました。

	前第2四半期連結 累計期間 (千円)	当第2四半期連結 累計期間 (千円)
売上高	1,594,720	1,715,709
営業利益	245,404	170,871
経常利益	243,174	167,750
親会社株主に帰属する 四半期純利益	162,048	107,755

セグメント別の状況は以下のとおりであります。また、各事業分野のセグメント利益は、全社管理部門費用205,845千円を含まない額であります。

・マルチリンガルCRM事業の概況

マルチリンガルCRM事業におきましては、日本語を含む13カ国語を活用し、外国人と日本人のコミュニケーション問題を解決する多言語・通訳ソリューションを24時間365日体制で提供しております。

今般訪日外国人観光客はコロナ禍以前の水準に戻りつつあり、実需における多言語によるサポートニーズも復調傾向にありますが、セグメントにおける業績への貢献については今後の段階であると認識しております。また、コロナ禍において発生した企業のテレワーク推進による一次受付需要の発生や、ワクチン接種受付業務及び新型コロナウイルス感染者のサポート業務といった利益率の高いスポット案件は緩やかにシュリンクしておりますが、官公庁や自治体などの公共関連業務の受注拡大が続いておりますことから、日本語を中心とした国内におけるサポート業務の受託が安定して増加を続ける形となりました。これに加え、当社グループの株式会社シー・ワイ・サポート及び株式会社OmniGridがいずれも計画通りの進捗となりました。

以上の結果、マルチリンガルCRM事業全体では、売上高は前年同期と比べ115,314千円増加し1,238,529千円、セグメント利益は前年同期と比べ13,359千円増加し295,094千円となりました。

	前第2四半期連結 累計期間 (千円)	当第2四半期連結 累計期間 (千円)
売上高	1,123,214	1,238,529
セグメント利益	281,735	295,094

・セールスアウトソーシング事業の概況

セールスアウトソーシング事業では、主に当社がクライアント企業に代わって見込みユーザーに対してインサイドセールス等を行っております。当第2四半期連結累計期間については、主力業務である東京電力グループからの受託業務が前年度に比べて縮小となり、また、期首から計画しておりました新案件が期待通りの収益計画に至らなかったために撤退したことなどから計画との乖離が生じた一方、大手携帯キャリアの契約切替勧奨業務が予想を上回る形で推移したことから売上高においては前年同期を上回る着地となりました。しかしながら、利益面においては外注費の増加及び、セグメント利益を牽引している東京電力グループからの受託業務が縮小となったことに連動する形での利益減少などが重なったことで前年同期を割り込む結果となりました。

以上の結果、セールスアウトソーシング事業全体では、売上高は前年同期と比べ6,194千円増加し477,991千円、セグメント利益は前年同期と比べ82,919千円減少し81,622千円となりました。

	前第2四半期連結 累計期間(千円)	当第2四半期連結 累計期間(千円)
売上高	471,797	477,991
セグメント利益	164,541	81,622

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は現金及び預金、売掛金などが減少した一方、その他資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べ180,493千円減少し3,800,755千円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ177,800千円減少し2,327,560千円、固定資産は前連結会計年度末に比べ2,692千円減少し1,473,194千円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は買掛金及び長期借入金の減少などにより前連結会計年度末に比べ162,568千円減少し1,186,740千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は利益剰余金の増加及び自己株式の取得などにより前連結会計年度末に比べ17,925千円減少し2,614,015千円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ202,630千円減少し、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は1,841,967千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、77,169千円の収入で、税金等調整前四半期純利益及び運転資本の増減などにより前年同期に比べ360,096千円の収入減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、78,423千円の支出で、固定資産の取得及び敷金及び保証金の差入などによるものです。前年同期に比べ25,180千円の支出増加となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、201,375千円の支出で、長期借入金の返済及び自己株式の取得などによるものです。前年同期に比べ137,209千円の支出増加となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績につきましては、2023年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。今後、業績予想の修正の必要性が生じた場合は速やかに開示いたします。

なお、業績予想発表時に見込んでいた新型コロナウイルス感染症の影響については、2024年3月期末までは続くものと見込んでおりますが、業績への影響は現時点において軽微であると判断しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,044,597	1,841,967
売掛金	412,504	371,898
その他	48,479	113,863
貸倒引当金	△220	△168
流動資産合計	2,505,361	2,327,560
固定資産		
有形固定資産	82,084	81,352
無形固定資産		
のれん	718,704	674,166
顧客関連資産	358,750	338,250
その他	175,367	181,583
無形固定資産合計	1,252,822	1,194,000
投資その他の資産	140,980	197,842
固定資産合計	1,475,887	1,473,194
資産合計	3,981,249	3,800,755
負債の部		
流動負債		
買掛金	191,646	116,293
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	144,000	144,000
未払法人税等	86,675	66,950
賞与引当金	3,054	1,980
その他	226,916	232,495
流動負債合計	952,293	861,719
固定負債		
長期借入金	396,000	324,000
資産除去債務	1,015	1,020
固定負債合計	397,015	325,020
負債合計	1,349,308	1,186,740
純資産の部		
株主資本		
資本金	547,367	547,696
資本剰余金	584,031	584,359
利益剰余金	959,829	1,067,585
自己株式	△166	△129,101
株主資本合計	2,091,063	2,070,540
新株予約権	12,443	15,920
非支配株主持分	528,434	527,555
純資産合計	2,631,941	2,614,015
負債純資産合計	3,981,249	3,800,755

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,594,720	1,715,709
売上原価	1,081,922	1,272,197
売上総利益	512,797	443,512
販売費及び一般管理費	267,393	272,640
営業利益	245,404	170,871
営業外収益		
受取利息	8	9
還付加算金	145	34
その他	25	4
営業外収益合計	179	48
営業外費用		
支払利息	2,409	2,083
支払手数料	—	1,087
営業外費用合計	2,409	3,170
経常利益	243,174	167,750
特別損失		
固定資産除却損	—	290
特別損失合計	—	290
税金等調整前四半期純利益	243,174	167,459
法人税、住民税及び事業税	74,068	63,072
法人税等調整額	△766	△2,488
法人税等合計	73,302	60,584
四半期純利益	169,872	106,875
非支配株主に帰属する四半期純利益又は四半期純損失(△)	7,824	△879
親会社株主に帰属する四半期純利益	162,048	107,755

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	169,872	106,875
四半期包括利益	169,872	106,875
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	162,048	107,755
非支配株主に係る四半期包括利益	7,824	△879

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	243,174	167,459
減価償却費	22,376	29,609
顧客関連資産償却額	20,499	20,499
のれん償却額	43,417	44,538
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△169	△52
賞与引当金の増減額(△は減少)	779	△1,074
受取利息及び受取配当金	△8	△9
支払利息	2,409	2,083
支払手数料	—	1,087
売上債権の増減額(△は増加)	202,865	40,606
仕入債務の増減額(△は減少)	△89,401	△75,353
未払金の増減額(△は減少)	△50,978	24,398
未収消費税等の増減額(△は増加)	120,044	—
その他	5,225	△91,867
小計	520,234	161,924
利息及び配当金の受取額	8	9
利息の支払額	△2,376	△1,911
法人税等の支払額	△80,600	△83,671
法人税等の還付額	—	817
営業活動によるキャッシュ・フロー	437,265	77,169
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14,794	△6,329
無形固定資産の取得による支出	△18,448	△29,621
敷金及び保証金の差入による支出	—	△43,770
敷金及び保証金の回収による収入	—	1,297
事業譲受による支出	△20,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53,243	△78,423
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△72,000	△72,000
自己株式の取得による支出	△166	△130,021
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	646
新株予約権の発行による収入	8,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△64,166	△201,375
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	319,856	△202,630
現金及び現金同等物の期首残高	1,657,625	2,044,597
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,977,481	1,841,967

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年7月4日開催の取締役会決議に基づき、自己株式97,200株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が128,934千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が129,101千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マルチリンガル CRM事業	セールスアウト ソーシング事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,122,923	471,797	1,594,720	—	1,594,720
セグメント間の内部売上高 又は振替高	291	—	291	△291	—
計	1,123,214	471,797	1,595,012	△291	1,594,720
セグメント利益	281,735	164,541	446,276	△200,872	245,404

(注) 1. セグメント利益の調整額△200,872千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マルチリンガル CRM事業	セールスアウト ソーシング事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,237,717	477,991	1,715,709	—	1,715,709
セグメント間の内部売上高 又は振替高	811	—	811	△811	—
計	1,238,529	477,991	1,716,521	△811	1,715,709
セグメント利益	295,094	81,622	376,717	△205,845	170,871

(注) 1. セグメント利益の調整額△205,845千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。